

## 入会させていただいて・・・ 淵上啓太 会員



今日 先輩方の前でお話できる機会をいただき、又 本日夕方から歓迎会をしていただけることを非常にありがたいと思っております。どういふことをお話申し上げればいいのか会長にちょっと伺いました。その中でロータリークラブで活動することが、まず奉仕ではないかなあと思ひまして、そのことを少し考えてまいりました。その前に私事ではございますが簡単に自己紹介をさせていただきます。私は淵上啓太と申しまして両親とも九州で親父は熊本、母は福岡小倉出身でございます。祖父がもともと写真家みたいな仕事をしておりまして満州鉄道の広報として満州にいました。後に東京に来まして父は祖父の意思をつくといひますか写真のスタジオ、証明写真を撮ったり学校のアルバムを作ったりということで生業をたてておりました。東京都下田無市に生まれ育ちました。

6年ぐらひはサラリーマンをやりましたが自分で何か出来ないかとチャレンジをいたしたく、千葉県人となり 市川市の方にコルトンプラザというショッピングセンターのテナントの「手作り豆腐や」を自営業として始めました。10年たったところで商売替えをしました。始めて石材関係のところに入ることになり、そこから6~7年たち3年前にこの小金の街で起業させていただいたという経緯でございます。9月17日に銚子市の方でオリジナルの霊園をオープンさせていただきました。そうのような事で週末は銚子の方に行っております。平日はこちらの方でお寺さんのお仕事をやっております。まとまりのないお話になるかと思ひますがどうぞお許しいただきたいと思ひます。

まず、私が **奉仕** ということを考えて時に基本的には見返りを求めない行ないであると思ひます。今後いつどこで行なえるのかなといふところで 奉仕活動の一環として10月6日の「いもほり大会」のお手伝い、そういったことを通じて少しづつ出来るのかなあと思ひます。

私自身が心底できる立場になるといひますか、その有り様といふのはどこなのかなあといふ、いろいろの方からお伺いできる機会を求めて、身をもって勉強させていただいている状況です。

その中で印象に残っている、ある会社の社長さんのお話ですが **【基本的には自分が豊かになること、そこから 奉仕 や 施し というのが生まれるのではないのかと】** といふお言葉を聞きました。そのとき私が思ったことは「お金」はなくとも「気持ち」があれば それは奉仕なんじゃないかといふことを考えました。

やはり会社を経営する何人かの社長さんに聞いてみましたが **「それはその通りだと・・・」** といひいただきました。やはり自分がきちっと一人前になること、これをまず優先していかなければならないのかといふふうにご考へております。まだまだ若輩者で起業したばかりですので奉仕の中でのお手伝いという形しか、まだできませんが、その中から私自身が生業を通じて、鈴木悦朗会長はよくご存知でしょうが、石屋の仕事といふばそこで終わってしまう。ですが大切な方を亡くされて埋葬するまでにお墓を作るといふことは、ご家族の方は非常に精神的にもお疲れですし打ちひしがれたような環境の中でご供養の仕方といふものを形にする。

**これで良かった** と安心していただけるのが一番私どもは幸せでございます。仕事を通じての奉仕、それも奉仕の一環ではないかと考えました。仕事の中の喜びも感じるのですが、松戸北ロータリークラブの中の奉仕活動をこれから勉強させていただきたいと思ひます。先輩方のご指導をいただきながら、又 自分から進んでやるようにしていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌  
・広報委員会》委員長：伊師 剛迪  
委員：平田 洋一副委員長：大川 隆永  
委員：高崎 卓哉財団BOX  
4.103円WEEKLY REP  RT国際ロータリー第2790地区第12分区  
松戸北ロータリークラブ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

## 第1887回 例会 (第12週) 2011年 9月27日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー  
第2790地区ガバナー 山田修平  
第12分区ガバナー補佐 安井克一  
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗  
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)  
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ポウル1F  
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内  
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696  
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp



## The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

会長 鈴木悦朗

ご高尚のように、当クラブでは定款・細則の改正について8月末から毎週のように検討委員会のメンバーにお集まりいただき、委員会を開催しております。昨日ようやく原案がまとまり、本例会終了後、臨時理事会を開催し、審議いただくことになりました。

その作業を終えたあと、当クラブの定款・細則はいつから変わっていないのか、歴代の活動計画書を紐解いてみたところ、1994年9月に改正されてからそのままであったことが判明いたしました。ちなみにRIの定款は3年毎に見直されています。

理事会にて承認されましたら、会員の皆様へ郵送し、ご一読いただき、10月第3例会あたりに皆様のご承認を得たいと存じております。

さて、ロータリーの綱領も、1906年に制定されて以来、いくたびか改正されています。

## 現在のロータリーの綱領(Object of Rotary)

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること
- 第2. 事業および専門職務の道德水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること
- 第3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
- 第4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

(RI定款第4条) ロータリーの綱領の4項目は等しく大きな意味をもつこと、また同時に行動をおこすべきものである。皆さんご承知の通りですが、1906年 - 最初のロータリークラブが1905年2月にシカゴに創設され、1906年1月付けの印刷されたクラブ定款の中で 綱領は次のように述べられ互恵クラブからはじまったことがよくわかります。すなわち、

- 第1. 本クラブ会員の事業の利益の増大。
- 第2. 通常社交クラブに付随する親睦及びその他の特に必要と思惟する事項の推進。
- 第3. シカゴの最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に広めること。



(類似の綱領が1908年から1910年8月までに結成された他の全クラブによって採択されました。)

次に、アメリカ各地にロータリークラブができるようになった1910年には、次の綱領が全国ロータリークラブ連合会によって採択されました。

- 第1. アメリカ全土に加盟ロータリークラブを結成することにより、ロータリーの原則を拡大伸展させること。
- 第2. アメリカ全土の加盟ロータリークラブの仕事及び原則を統一すること。
- 第3. 市民の誇り及び忠誠を鼓舞激励すること。
- 第4. 進歩的かつ尊敬され得る営業方法を推進すること。
- 第5. 加盟ロータリークラブの会員個人の事業の利益を増大すること。

ロータリークラブが世界各国でできるようになった1912年には、ダルースにおける国際大会で、ロータリークラブ国際連合会の綱領は次のようになりました。

- 第1. ロータリーの原則を標準化し 全てのロータリークラブが地元の事情に適應する範囲でそれを採決すること。
- 第2. 世界のすべての商業中心地にロータリークラブを結成するよう奨励推進すること。
- 第3. 現存ロータリークラブの仕事と、所属会員並びに地域社会に対するこれらクラブの価値とを研究し、かくして得た情報を全ロータリークラブのために明らかにすること。
- 第4. 広い友愛精神と、各国各都市のロータリアン職業人同士及び加盟クラブ間の利益の調和とを推進すること。

1915年、サンフランシスコ大会において、国際連合会の綱領は次のように改正されました。

- 第1. ロータリーの原則並に活動を標準化し、かつ普及すること。
- 第2. 世界のすべての商業中心地にロータリークラブを結成するよう奨励し、推進し、監督すること。
- 第3. 現在ロータリークラブの活動と、所属会員並びに地域社会に対するこれらクラブの価値とを研究し、かくして得た情報全ロータリークラブのために明らかにすること。
- 第4. 偏見のない友好の精神をロータリアン同士並びにロータリークラブ間に推進すること。
- 第5. クラブの地域社会の公共の福祉に対するクラブ会員の関心を高め、かつ、市、社会、商工業の発展のために他の人々と協力すること。
- 第6. 同僚や社会一般のために奉仕したいという意欲を起すよう会員を鼓舞すること。

1918年にはカンザスシティ国際大会において国際連合会の綱領は次のように書き替えられました。

- 第1. 世界中のすべての商業中心地にロータリークラブを結成するよう奨励、推進、監督すること
- 第2. 地方的活動ではなく、全加盟ロータリークラブの仕事及び活動を調整し、標準化し、かつ全般的に指導すること。
- 第3. 国際連合会自体の活動を通じ、又加盟ロータリークラブを通じて次の事項を鼓吹し育成すること。
  - イ) 実業及び専門職業の道德水準を高めること
  - ロ) すべての尊ぶべき事業の基礎として奉仕の理想
  - ハ) 地元の地域社会の市民、商業、社会の繁栄及び道德の高揚に対する全ロータリアンの積極的関心
  - ニ) 成功を助長するものとして且つ又奉仕の一つの機会として広範な交友関係の増進
  - ホ) ロータリアンの能率と有用性を高める手段として、構想及び事業運営法の相互交換
  - ヘ) すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そして各ロータリアンの職業を、社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること。
- 第4. 専ら全ロータリアンだけの使用と利益のために、国際ロータリーの徽章 その他の記章を創案し、採択し、保存すること。

1921年のエジンバラにおける国際大会で国際連合会の綱領第4条が第5条と変更され、新たに次のような第4条が採択されました。

・ロータリーの奉仕の理想に結ばれた、あらゆる国の実業人と専門職業人の親交を通じて国際間の平和と親善の推進に助力すること。

1922年のロスアンゼルス国際大会において、国際連合会は国際ロータリーと改称され、綱領は次のように改正されました。

ロータリーの綱領は次の事項を鼓吹育成することにある。

1. すべての尊ぶべき事業の基礎としての奉仕の理想
2. 実業及び専門職業の道德水準を高めること
3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
4. 奉仕の機会として知り合いを広めること
5. あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること
6. ロータリーの奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、理解と親善と国際間の平和を推進すること。

1935年 - メキシコ、メキシコ シティで開催された6カ条より成るロータリーの綱領が4カ条に言い換えられ、かくしてロータリーの綱領と目標と目的に対する計画との直接関係が明示されました。4カ条に改められた綱領は次の通りであります。ロータリーの綱領は、尊ぶべき事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：

1. 奉仕の機会として、知り合いを広めること；
2. 実業及び専門職業の道德水準を高めることあらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること；

そして、1951年 - 米国ニュージャージー州アトランティックシティで開かれた国際大会は、国際ロータリー定款第3条第1節及び標準ロータリークラブ定款第2条第1節を改正して、現在の「object of Rotary」にしました。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは次のようにいっています。

「世界は絶えず変化しています。私たちは、この変化する世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は、繰り返し、繰り返し、書き直す必要があるでしょう。」  
ロータリーで変えていかなければならないものは、時代に合わせたクラブの組織の管理運営および奉仕活動の実践であり、ロータリーで変えてはならないものは「ロータリーの哲学」すなわち常に奉仕の理想を掲げる精神だと思います。



## 幹事報告：児山守治

1. ガバナー公式訪問例会のお知らせ  
10月4日(火)夜間例会・クラブ協議会行います。
2. 2010~2011年度月信13号および合本送付。
3. 松戸ロータリークラブ例会変更のお知らせが届いております。
4. クラブ協議会にお貸した活動計画書5冊足りません。次回に必要ですから返却お願いします。(事務局より)



## ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。